

**(件名)「バンコク日本博 2022」について**

今回は、バンコクの中心部の大型商業施設サイアムパラゴンで開催された「バンコク日本博 2022」を視察しましたのでご紹介します。

**1 バンコク日本博の概要について**

「バンコク日本博」は、タイ最大級の日本製品の総合展示会であり、日本の文化や旅行、食、伝統工芸、サブカルチャー、留学、就職など日本発のあらゆる商品や情報をタイ人に向けて発信するイベントです。今回は約 3 年ぶりにオフラインでの開催となり、日タイ修好 135 周年記念の認定事業として、9 月 2 日（金）～4 日（土）の 3 日間の日程で行われました。



会場入り口の様子（筆者撮影）

**2 視察結果について**

**(1) 会場の様子について**

会場は次のとおりカテゴリ毎に分けられて出展ブースが設けられていたほか、特設ステージでは、盆踊りや和太鼓といった演目をはじめ、タイのアイドルグループや日本のアーティストによる生ライブなどが行われており大盛況でした。

EDUCATION	日本の大学や国際系の専門学校、日本語学校などが出展
JOB	人材紹介会社やタイ人の採用を募集する在タイ日系企業などが出展
TRAVEL	日本の自治体や日本へのツアーを取扱う旅行会社などが出展
JAPAN BRAND	日本の伝統芸能や工芸品、文具などを扱う会社が出展
FOOD	在タイの日系飲食店などが出展
SUBCULTURE	アニメ、マンガ、映画、キャラクターグッズなどを扱う会社が出展

来場者は比較的若い世代のタイ人が多かったほか、タイ在住の日本人も多く参加しており、会場内は人で溢れかえるほど混雑していました。タイでは既にコロナのピークを脱し感染も収まりつつあることから、飲食物の提供や日本文化の体験などが通常どおり行われており、コロナの雰囲気を感じさせない状況でした。



会場内の様子（筆者撮影）



ステージライブの様子（出典：バンコク日本博公式 FB）

報告者：副所長 青谷 祐介

## (2) ブース出展について

ブース出展者は、タイに現地法人を構える日系企業や団体をはじめ、日本から来タイして参加している出展者も数多くいました。

EDUCATION カテゴリでは、日本の高校や大学、専門学校などが日本から来タイして出展し自校のPRや留学案内を行っており、学生や家族連れのタイ人が多く集まっていました。

TRAVEL カテゴリでは、旅行会社が出展しツアー商品を販売していたほか、日本政府観光局や県の自治体などの公的機関もブース出展しており、それぞれ日本旅行への相談受付や地域のPR活動を行っていました。日系の旅行会社にヒアリングしたところ、来場者は特に東京と北海道のツアー商品への関心が高かったようです。

北海道関係では、バンコクにある北海道居酒屋「えぞや」やコンサドーレ札幌などが出展しており、北海道を絡めて自社商品の提供やPR活動を行っていました。UHBのブースでは、札幌観光大使が来タイし、「どんぐり」のちくわパンや「奥芝商店」のスープカレーなどを提供しており、長蛇の列ができるほどの賑わいでした。

## (3) 所見

今回のイベントには若い世代のタイ人を中心に幅広い年齢層のタイ人が参加し大盛況で、改めてタイ人の日本への関心の高さを実感しました。特に人気があるサブカルチャーや観光、飲食以外のブース（伝統工芸や文化体験、不動産、教育、仕事など）にも多くの人を訪れており、日本のあらゆるものをPRする場として活用できるイベントだと感じました。

一方で、日本への関心が高いタイ人は既に日本の商品や文化を熟知しているため、例えば北海道の観光をPRするにあたっては、裾野を広げると同時に今まで以上に地域特性を活かしたPRを行うなど、他地域との差別化や「目新しさ」がより必要になると感じました。



鳥取県のブース。デジタルサイネージで、タイ人インフルエンサーが県をPR。（筆者撮影）



コンサドーレ札幌のブース。今季加入したタイのスパチャョーク選手をPR。（筆者撮影）



UHBのブース。ちくわパンやスープカレー、北海道米のおむすびなどを提供。（筆者撮影）